

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

No.112		白王・円山		生物地理区分		アカマツ林	
				地域区分		都市周辺	
所在地	都道府県	滋賀県		地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	近江八幡市			4.低地	5.その他	
	集落名称等			環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
					4.畑	5.小川・水路	6.ため池
				7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林	
				10.その他(湖岸)			

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
国定公園	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観(全国第1号)選定(H18) ・「田園自然再生活動コンクール」受賞(H19) ・「にほんの里100選」選定(H21)
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状



写真の説明：水郷地帯の稲の運搬



写真の説明：ヨシ刈り

No.112	白王・円山	取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
都道府県	滋賀県		2.団体・企業・学校等
市町村	近江八幡市		3.行政による支援施策の活用
集落名称			4.多様な主体が参加・連携する組織体
			5.その他

取組主体	主な主体の名称	地域住民
	その他の主体の名称	近江八幡市、白王町鳩の会、権座・水郷を守り育てる会 等
目的 :主 :その他	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用	
	自然観察会	
	環境教育・学習活動	
	里地里山体験・環境保全	* 西の湖保全自治連絡協議会、東近江水環境自治協議会、東近江水環境保全ネットワークの主催による西の湖ヨシ刈りボランティア。
	農林業体験活動	
	エコツアー	
	その他	
	5.地域の良好な景観の保全・修復	
	取組内容	<p>・西の湖周辺にはヨシ原を主体とする広大な湿性植物群落(大部分が「陸ヨシ帯」)があり、琵琶湖固有種や絶滅危惧種を含む多くの植物をはじめ動植物の生息・生育の場として重要な役割を果たしている。冬場のヨシ刈り、春のヨシ焼きなど伝統的手法により管理が続けられ、ヨシ加工による簾やよしすなどの生産が生業として維持されている。また湖中水田を始め湿地に点在する水田での農業活動が維持されるなどにより、内湖と共生する地域住民の生活と深く結びついた水郷の景観が残されている。しかし、ヨシ産業の衰退によるヨシ群落の縮小、大規模農業経営の導入による建造物の変化、里山の荒廃などから景観の改変が進んだ。</p> <p>・近江八幡市では H17 年 3 月に風景づくり条例を制定し、条例に基づく「風景づくり協定」や「風景づくり委員会」等への地域住民の参加を通じて、文化的景観の保護に向けた取り組みを進めた。</p> <p>・西の湖及びその周辺のヨシ原の自然環境が、ヨシ産業などの生業や内湖と共生する地域住民の生活と結びついて発展したものであり、価値の高い文化景観を形成していることから、2006 年(H18)に文化財保護法に基づく重要文化的景観の第1号として選定された。その後、周辺の集落や農地・里山なども選定され、現在の選定地域は約 354ha。指定にあわせて、近江八幡市では水郷地区(円山・白王・北之庄)を対象とした「景観農業振興地域整備計画書」を策定(H18年12月)し、景観と調和した農業の推進を図っている。</p>
	6.里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承	
	生活行事	
対象	資源利用技術	* ヨシ加工によるすだれやよしすなど高級夏用建具の製造が行われている。製造業者の数は減少したが「ヨシ地焼き」等の作業は従来の手法を留めている。
	その他	
	取組内容	
連携・協働による 取組内容・役割分担等	<p>地域住民:農村景観の保全活動を推進</p> <p>近江八幡市:景観行政団体として景観計画を策定</p> <p>白王町鳩の会:集落営農組合が中心となって権座を中心とした農村景観の保全活動を実施</p> <p>権座・水郷を守り育てる会:2008(平成20)年、美しい景観を構成に守り継ぐことを目的に地元農家をはじめ NPO や市民が協力して設立。(メンバーは町外の人も含め現在 160 名)</p>	
取組の特徴や強調したい点	<p>・水郷地区の景観は、これまで琵琶湖の内湖との共生、水郷の活用、水稻等の農業活動、ヨシ生産の活動など地域の暮らしの積み重ねの結果生まれたもの。</p> <p>・地域での豊かな暮らしと、それを子や孫へと継承するために、地域に受け継がれてきた風景を次世代に引き継いでいくことが大切である。</p>	

取組の概要	琵琶湖の内湖「西の湖」でのヨシ産業をはじめとする文化的景観の伝承	課題グループ 景観文化手法
事例の特性	循環型農業(水辺環境)	
取組の中で他の地域の参考となる点	西の湖周辺の集落では、古くからのヨシ加工産業が生業として維持され、ヨシ管理が続けられていたり、周辺湿地に点在する水田での農業活動を通じて内湖との関係が続くことにより、水郷の文化的景観が今も維持されている。	